

10月の序論のポイント5つ

1. 聖餐式

イエス・キリストの十字架の恵みによる救いに対する確信と感謝

2. 集中

私たちの靈的状態が変わった。死 → いのち =再創造

3. 特別祈り

神様の絶対計画、エジプトや荒野のような今のところに

4. 定刻祈り

たましいは、みことば祈りによって生きる（いやし）

5. まことの答え

御座の力、時空を超えた神の国の祝福をこの世でも味わう

第1課 小さい者と偉い人（マタイ 18:1-10）

フォーラムのポイント 「罪とゆるし」

先週（9月4課）と重なるので、先週のメッセージを参考にしてください。

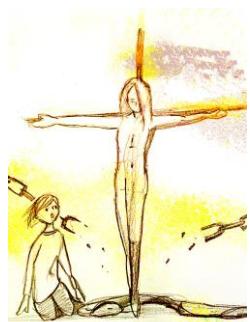
マタイ 18章 15節からのみことばについて簡単に核心の内容をまとめます。

この聖書箇所は、罪とゆるしに関することです。私たちは、とうてい返すことができない借りがある者です。一万タラントの借りのある者が出て来ます。

その当時の1タラントは、6000 デナリです。1 デナリが1日働いた賃金でした。

ですから、一万タラントというのは、6000 デナリ×1万ですから、16万年以上働かなければ稼げないお金です。とうてい、返すことができない借りです。

ただ主人のゆるしの恵みでなければ返せないということです。



そのように私たちは、罪と罪過によって死んだ者です。

イエス・キリストの十字架の恵みとあわれみによって再創造され、生き返らせてもらいました。

その借りを全部返した者としてくださったのです。それゆえ、恵みです。

恵みというのは、受けることができない者が受けることです。返すことができないのに、受けたことです。

ですから、救いを恵みと言うのです。

このゆるしは、ただ単に倫理、道徳的にあやまったことをゆるしてあげることではありません。

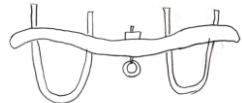
私たちは他の人をゆるす資格もありません。

ゆるすことは、罪を完全になくすことがゆるしです。

私たちには、自らそのようにする資格がありません。
罪と死から生かされた者だけが、することができるのが「ゆるし」です。

いのちであるイエス・キリストによって、自らが神のようになって善と悪を判断しようとするこの世の基準、人間の法律から抜け出させてくださって、真理の中に連合させてくださり、イエス様とひとつとなること、これが真理です。

イエス・キリストと連合させてくださることを「くびき」と言います。



くびきとは、2匹の牛をひとつとする道具です。



イエス様と私たちが、くびきによってひとつとなって、ただイエス様を主人として従順に行くこと、その人を通して他の人に伝えられるのが「ゆるし」です。

私がするのではなく、私の中におられるイエス・キリストによって、他の人に伝えられるのが「ゆるし」です。



イエス様はマタイ18章を通して、失った一匹の羊さえ探しに行かれる方です。

そのように探しに来られ、見つけられた私は、イエス様によってゆるしを受けました。

その私は、神様がこの世で教会としてくださいました。

礼拝堂に集まって礼拝するところが教会ではなく、救われた一人ひとりが教会です。

その教会の頭は、イエス・キリストです。

私たちは、そのからだの一つ一つの器官です。

そのようにイエス様と連合してもらった私たちの生活を通して、他の人々にゆるしが伝えられます。キリストがしてくださることです。

イエス・キリストの真理のみことば、いのちのみことば、福音のみことばが、私を通して他の人々に伝わることが「ゆるし」であり、それが「伝道と宣教」です。

一万タラントの借りのある者に、最後に言われたことがあります。

マタイ18:33

私がおまえをあわれんでやったように、おまえも仲間をあわれんでやるべきではないか。』

18:35

あなたがたもそれぞれ、心から兄弟を赦さないなら、天のわたしの父も、あなたがたに、このようになさるのです。』

みなさんが、一生懸命しようとがんばる必要はありません。

私たちの内におられるイエス様がなさることを信じて、ただ神の国、聖霊の満たしを毎日祈っていきましょう。